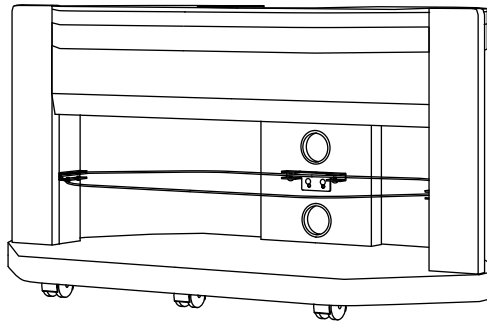
# 取扱説明書

システムラック

## 品番 TD-WHD6

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」とテレビの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。とくに3～5ページの「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。
取扱説明書には色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

適合機種
テレビ　液晶テレビ　　LCD-37HD6
　　　　プラズマテレビ　PDP-42HD6

目　次



保証書は必ずお受け取りください。

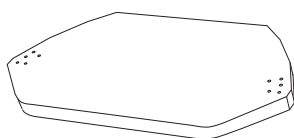
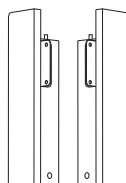
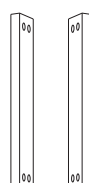
上手に使って上手に節電

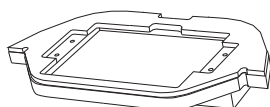
この機器を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

## 注意

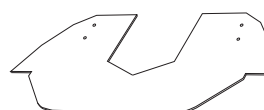
このシステムラックは、テレビを設置した状態でテレビのスイーベル（首振り）機能が働く構造になっています。ご使用の際は、ラックとテレビとのすき間に指などをはさまないようご注意ください。指などをはさんだ状態でテレビが回転しますと、大きな力が加わって深刻なけがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

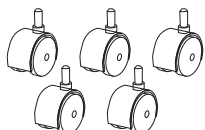
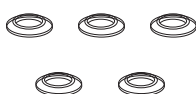
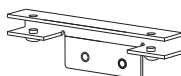
■同梱している部品

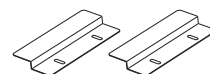
ラック底板　１個

ラック支柱Ａ（左・右）２個

ラック支柱B　２個

ラック背板　１個

ラック天板　１個
（スーパーウーハー組み込み品）

幕板　１枚

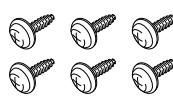
ガラス棚板　１枚

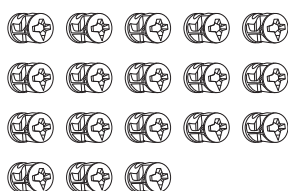
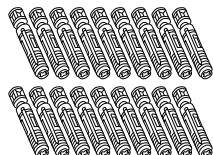
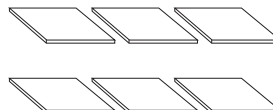
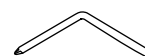
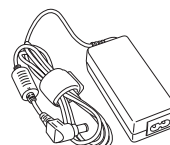
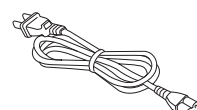
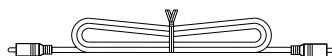
天板飾り板　１枚

後ろ飾り板　１枚

キャスター　５個

キャスター台座　５個

ガラス棚板受け金具（後ろ）　１個

ガラス棚板受け金具　２個

転倒防止金具　２個

ネジA　８本
（幕板、転倒防止金具用　M５）

ネジB　２本
（ガラス棚板受け金具（後ろ）用、M４）

ネジC　６本
（後ろ飾り板用、φ３）

ネジD　４本
（天板飾り板用、M５）

連結カム　１８個

連結ピン　１８本

傾き調整板　６枚

ガラス固定ネジ専用ドライバー　１本

ACアダプター　1個

電源コード　1本

ウーハー用コード　1本

# 安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

■絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。

の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。

の記号は「必ず実行してほしいこと（強制）」を示します。

## ⚠警告

### 万一、異常や故障が発生したときは

電源プラグをコンセントから抜け

次のようなときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

●煙が出ている、変なにおいや音がする（異常状態）
　煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
　お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。
●水などが内部に入った
●異物が内部に入った
●落としたり、キャビネットを破損した（故障状態）

### 電源コードの取り扱いについて

●電源コードの上に重い物をのせたり、コードを本機の下じきにしないでください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上をカーペットなどで覆うと気付かずに、重い物をのせてしまうことがあります。またコードを釘などで固定しないでください。
●電源コードはていねいに扱ってください。傷つけたり、加工・曲げ・ねじれ・引っ張り・加熱はしないでください。火災・感電の原因となります。
●しん線の露出や断線など、傷んだら販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

### 設置・使用する場所について

水ぬれ禁止

禁　止

本機の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止　　警　告

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがや破損の原因となります。設置はシステムラックとテレビ、ラックに収納する機器の合計の重さに耐えられる水平な所に設置してください。

水ぬれ禁止

風呂、シャワー室での使用禁止

ぬらしたり、風呂、シャワー室で使用したりしないでください。火災、感電の原因となります。

本機には専用のテレビ以外は設置しないでください。倒れたり、落下して事故やけがの原因となります。

## ご使用の際にはお守りください

分解禁止

裏ぶたをはずしたり、改造しないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。また改造は火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

禁　止

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電、けがや故障の原因となります。特にお子さまにご注意ください。

表示された電源電圧（交流100ボルト）で使用してください。表示された電源電圧以外では火災・感電の原因となります。

接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

警　告

コンセントつき延長コードを使用する場合、複数の機器を同時に接続して使用するなど、延長コードの定格を超えた使いかたをすると発熱し、火災の原因となります。延長コードの定格表示や説明書に従い正しくお使いください。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

禁　止

付属のACアダプターや電源コード以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因となるほか、性能が低下する原因となります。

# ⚠注意

## 設置・使用する場所について

禁　止

●本機に内蔵しているアンプ回路の放熱をさまたげないよう、通風孔をふさがないよう設置してください。ふさぐと熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
●湿気・ほこりの多い場所、調理台や加湿機のそばなどに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
●上に重い物を置かないでください。転倒・落下してけがの原因となることがあります。

●安定した所に置いてください。不安定な所に置くと動いたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。また地震などの非常時の安全確保と事故防止のため転倒防止策を行ってください。
●設置は、製品の重さに見合う人数で慎重に行ってください。十分でない人数で行うと転倒や落下を招く恐れがあり、けがや破損の原因となることがあります。

## 電源コード、電源プラグの取り扱いについて

禁　止

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●抜くときはコード部分を引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

●コードを細かく折り曲げたり、巻いたり、束ねたまま使用しないでください。放熱しにくくなり、発熱やショートを起こし、火災・感電の原因となることがあります。

●電源プラグは根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

## ご使用の際にはお守りください

禁　止

上に乗ったりぶら下がったりしないでください。落下する、倒れる、こわれるなどしてけがの原因となることがあります。特にお子さまにご注意ください。

年に一度は内部の掃除をご販売店にご相談ください。長年の使用で内部にほこりがたまると火災や故障の原因となることがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売店にご相談ください。

電源プラグを
コンセントから抜け

●旅行など長期間不在のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●お手入れは電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

●移動は、ウーハー接続コード、電源コードをはずし、テレビをラックから降ろして別々に行ってください。
ラックにのせたまま移動させますと、けがや破損の原因となることがあります。

# 正しくお使いいただくために/お手入れ

●直射日光が当たる所や熱器具のそばなどの高温になる所、ほこりや湿気の多い所では使用しないでください。故障の原因となります。

●殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させないでください。変質・破損したり塗料がはがれる原因となります。

●移動させるときはテレビをラックから降ろし、床面から持ち上げて移動させてください。床面に置いたままずらせますと床面を傷める原因となります。

●ネットの部分を固いものやとがったものでひっかかないでください。ほつれや破れの原因となります。

●お手入れは柔らかい布で軽くふいてください。ひどい汚れはうすめた中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき、乾いた布で仕上げてください。

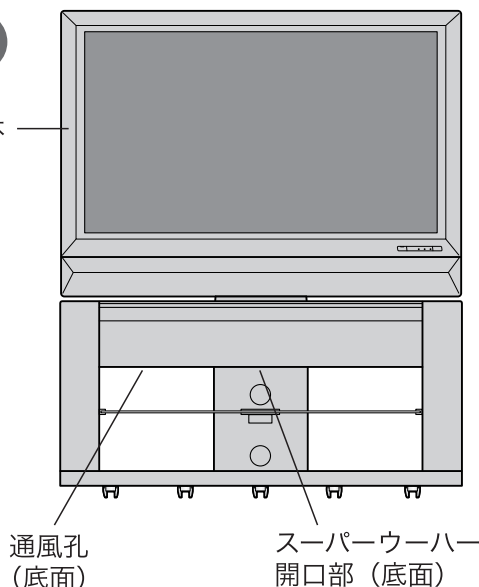
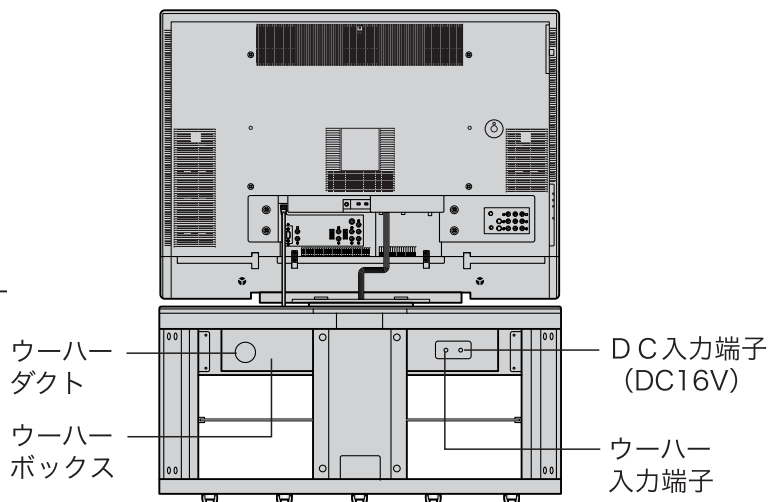
●ベンジンやシンナーなどでふきますと変質・破損したり、塗料がはがれることがあります。化学ぞうきんの使用は注意書きにしたがってください。

# 各部の名前

※図はLCD-37HD6を設置した場合です。

前面

テレビ本体

通風孔
（底面）

スーパーウーハー
開口部（底面）

※ウーハーボックスの底面にはネット（布）が張られています。とがったものなどで引っかいたり突いたりしないでください。

後面

ウーハーダクト

ウーハーボックス

ＤＣ入力端子
（DC16V）

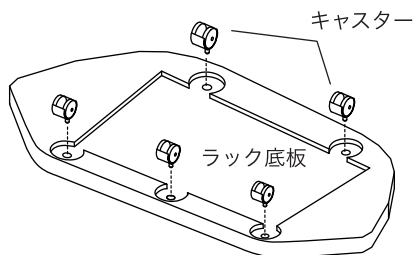
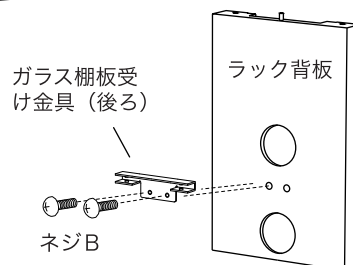
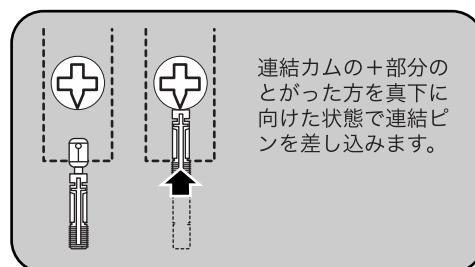
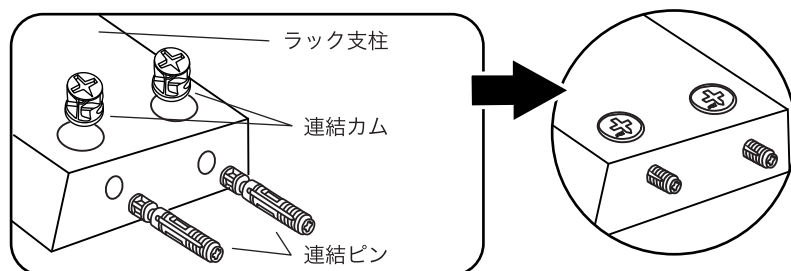
ウーハー入力端子

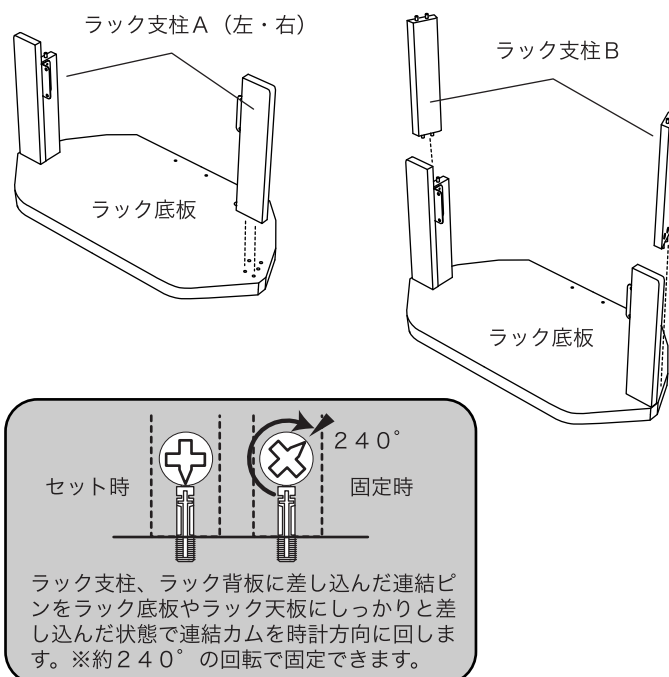
# ラックの組み立てと設置

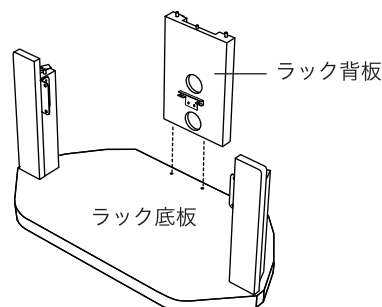
同梱している部品については２ページをご覧ください。

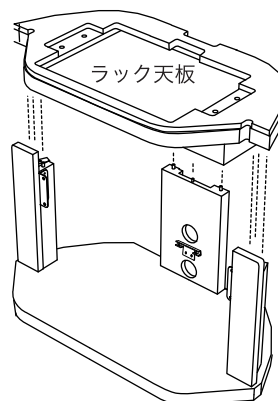
## 組み立てる前に

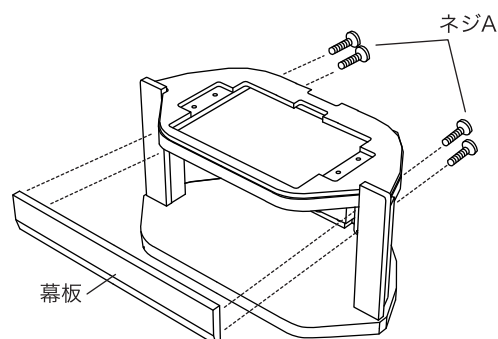
お手持ちのプラスドライバーをご用意ください。

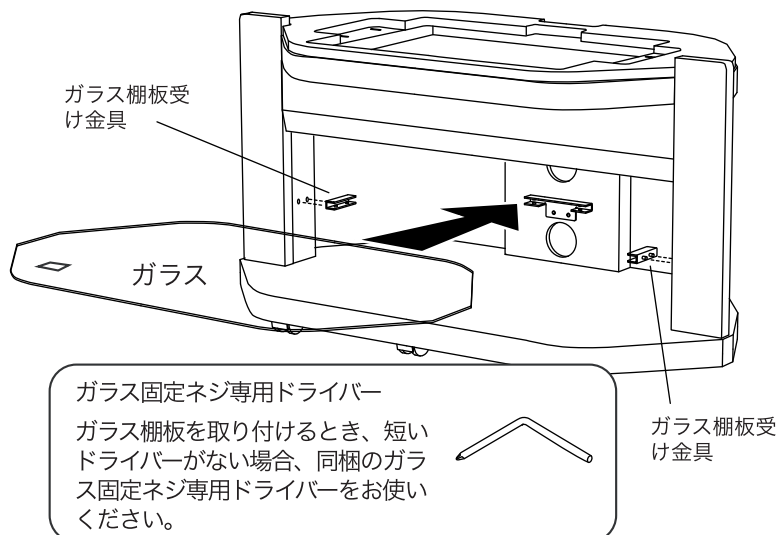
ラック底板の下側の樹脂ソケットに、キャスター（５個）の軸をしっかりと差し込みます。

ラック背板に取り付けるガラス棚受け金具（後ろ）のガラス板固定ネジをガラスの厚み程度までに緩め、ネジＢ（２本）で取り付けてください。

ラック支柱Ａ（左・右）、ラック支柱Ｂとラック背板の裏側の穴１８箇所に連結カムの方向を合わせて差し込み、次にそれぞれの両端の穴に連結ピン１８本を図のように差し込みます。

## 1 支柱の取り付け

ラック支柱Ａ（左・右）の下側のピンを、底板の穴に差し込んでください。ラック支柱Ａ（左・右）の裏側の連結カム（合計６箇所）を時計方向に止まるまで回転させて、ラック支柱Ａ（左・右）をラック底板にしっかりと固定してください。
次に、ラック支柱Ｂの下側のピンを、ラック底板の穴に差し込んでください。ラック支柱Ｂの下側の連結カム（合計４箇所）を時計方向に止まるまで回転させて、ラック支柱Ｂをラック底板にしっかりと固定してください。

## 2 背板の取り付け

ラック背板の下側のピンを、ラック底板の穴に差し込んでください。ラック背板の裏側の連結カム（２箇所）を時計方向に止まるまで回転させて、ラック背板をラック底板にしっかりと固定してください。

## 3 天板の取り付け

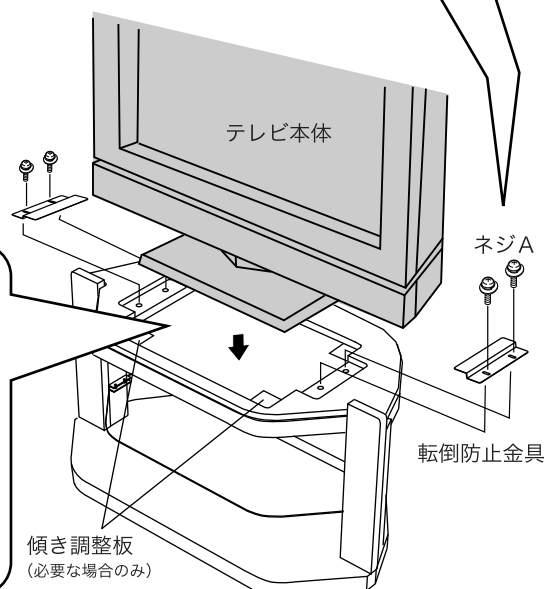
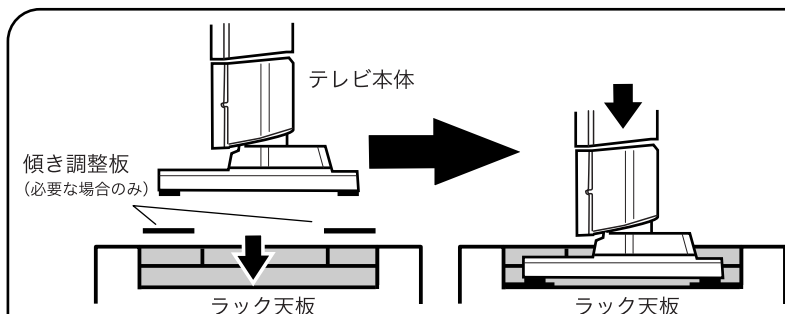
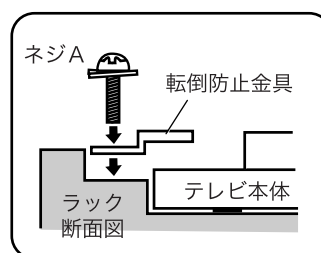
ラック支柱A（左・右)、ラック支柱Ｂとラック背板にラック天板（スーパーウーハー組み込み品）をのせてください。
ラック支柱A（左・右)、ラック支柱Ｂとラック背板裏側の連結カム（合計６箇所）を時計方向に止まるまで回転させて、ラック支柱とラック背板をラック天板にしっかりと固定してください。

## 4 幕板の取り付け

ラックに、幕板を　ネジA（４本）でしっかりと取り付けてください。
※幕板は天板に押しつけるようにしてすき間ができないように取り付けてください。

## 5 ガラス棚板の取り付け

1）ガラス棚受け金具のガラス板固定ネジをガラスの厚み程度までに緩め、左右のラック支柱Ａの内側の穴にピンを差し込みます。
2）ラベルが貼ってある面を上部手前にして、ガラス棚板の直線部分がガラス棚板受け金具（後ろ）に合うよう、図のように差し込みます。
3）ガラス板固定ネジ６本を付属のドライバーを使用してガラス棚板を固定します。
（締めすぎに注意。ガラスが割れる原因になります）

### ガラス棚板・使用上のご注意

足をかけて登ったり、衝撃を与えたり、強度を超える重いもの（10kg以上）をのせたりしないでください。棚板は強化ガラス製ですがガラスや取付部分が破損する恐れがあります。とくに小さなお子さまのいるご家庭では十分にご注意ください。

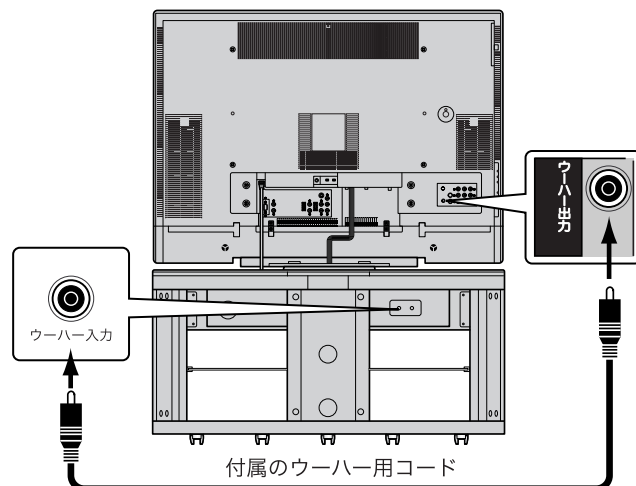
## 6 テレビ・転倒防止金具の取り付け

1）２人以上でテレビ本体を持ち上げ、慎重にテレビ本体をラックにのせてください。
2）ラックにのせたテレビを正面や側面から見て傾きが気になる場合は、一度ラックからテレビを降ろし、テレビ・スタンド部の下に付属の傾き調整板を敷いて調整できます。傾き調整板はラック天板のくぼみのコーナー部分に敷いてください。裏面に粘着テープがついていますので、ラック天板のくぼみ部分に貼り付けることができます。また重ねて使用することもできます。
3）テレビをラックにのせ、傾きも問題ないならば、転倒防止金具（2枚）をネジ Ａ（4 本）で固定して、テレビがラック上で転倒しないようにしてください。（転倒防止金具はテレビの位置をしっかり固定するものではありません。取り付け後も位置合わせのためにテレビを前後左右に動かせるようになっています）

### 指をはさまないようご注意ください。

テレビ本体とラック本体の間に指をはさまないようご注意ください。テレビ本体を持つ際に前面下部に指をかけますと、設置する際にラック本体との間で指をはさむ恐れがあります。テレビ本体を持つ際は、後部カバーのくぼみ（３７Ｖ型）やとっ手（４２Ｖ型）に指をかけ、前面の上部をもう一方の手で支えるように持ってください。

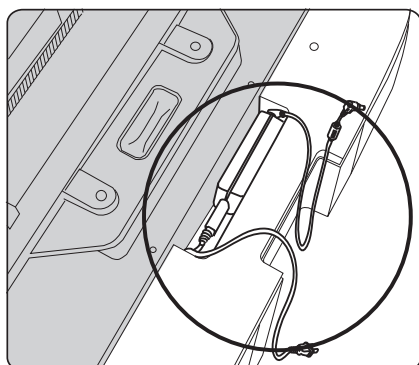
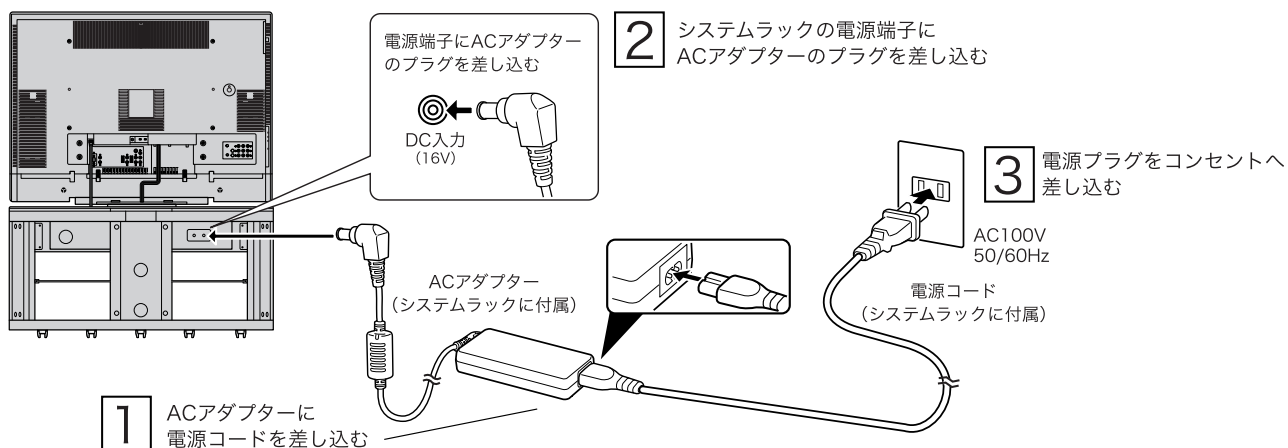
## 7 ウーハー用コードの接続

付属のウーハー用コードでテレビ本体のウーハー出力端子とシステムラックのウーハー入力端子を接続してください。

※図はテレビがLCD-37HD6のとき

**ご注意**

- 接続はスピーカーの保護のため、テレビ本体の電源を切って行ってください。
- ラック側の端子には、適合するテレビのウーハー出力以外は接続しないでください。故障の原因になります。

## 8 ＡＣアダプター、電源の接続

付属のACアダプターと電源コードでシステムラックをコンセントへ接続してください。

ラック天板後部に、ＡＣアダプターを収納することができます。ＡＣアダプターを収納しますと、ＡＣアダプターを床に置かなくてもよくなり、背面をスマートにまとめることができます。

**警告**

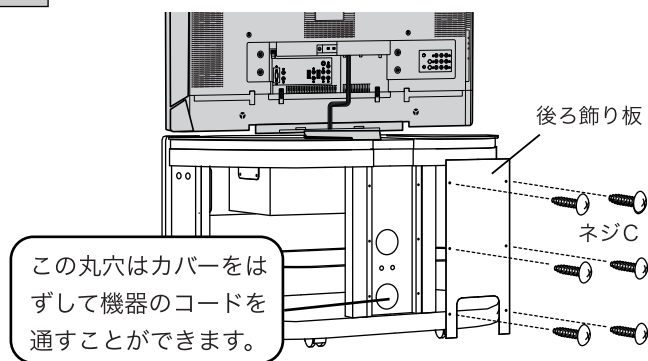
システムラックに付属のＡＣアダプターや電源コード以外の器具でシステムラックを電源に接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

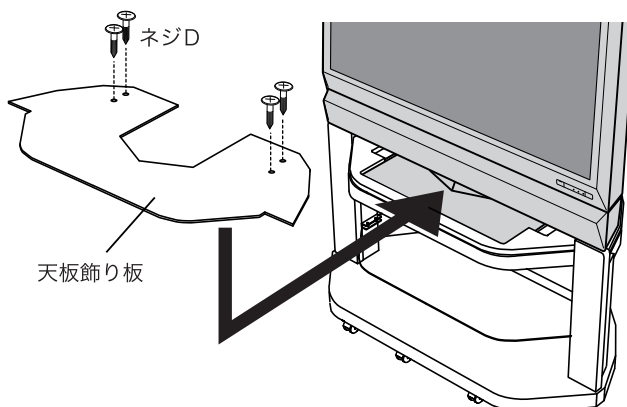
**注意**

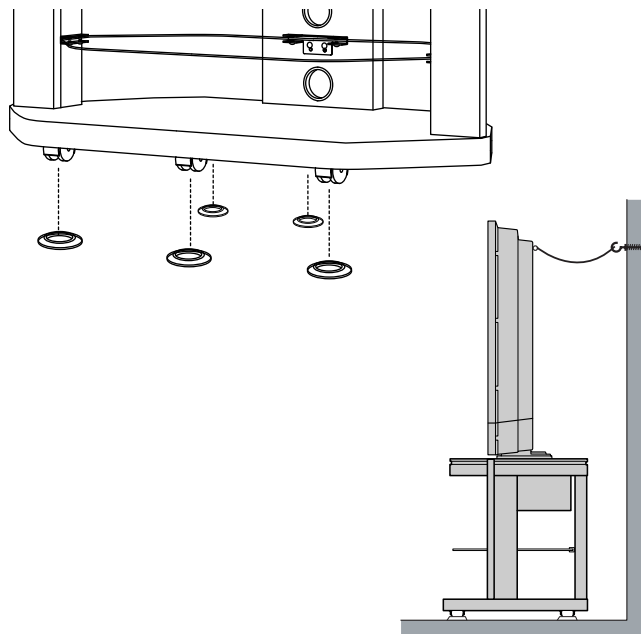
ＡＣアダプターを布などでおおったり、狭いところに押し込んだりして使用しないでください。放熱が悪くなり、火災や感電、故障の原因となることがあります。

## 9 後ろ飾り板及び天板飾り板の取り付け

付属の後ろ飾り板を取り付けますとアンテナや接続機器のコード類を隠すことができ、背面をスマートにまとめることができます。配線が終わった後、コード類をラック背板の間にまとめ、ネジＣ６本で後ろ飾り板をラック背板に取り付けます。

※ラック背板の間にＡＣアダプターを入れないでください。

最後に天板飾り板をネジＤ４本でラック天板に取り付けます。ラック天板の上面には両面テープが貼り付けられており、天板飾り板の前部分が浮かないように固定することができます。貼り付ける場合は天板飾り板の前部分を軽く持ち上げ、両面テープのはくり紙をはがして貼り付けます。

※天板飾り板の持ち方にご注意ください。両端のみを持つと割れることがあります。

## １０ キャスター台座の取り付け

ラックを安定させ床面を保護するため、キャスターを前面に向けキャスター台座の上に設置してください。

## １１ 転倒防止策を行う

テレビに取り付けたフックにひもなどを通して壁や柱に取り付け、転倒防止策を行います。
（フックの取り付けかたなどは、テレビの取扱説明書をご覧ください。）

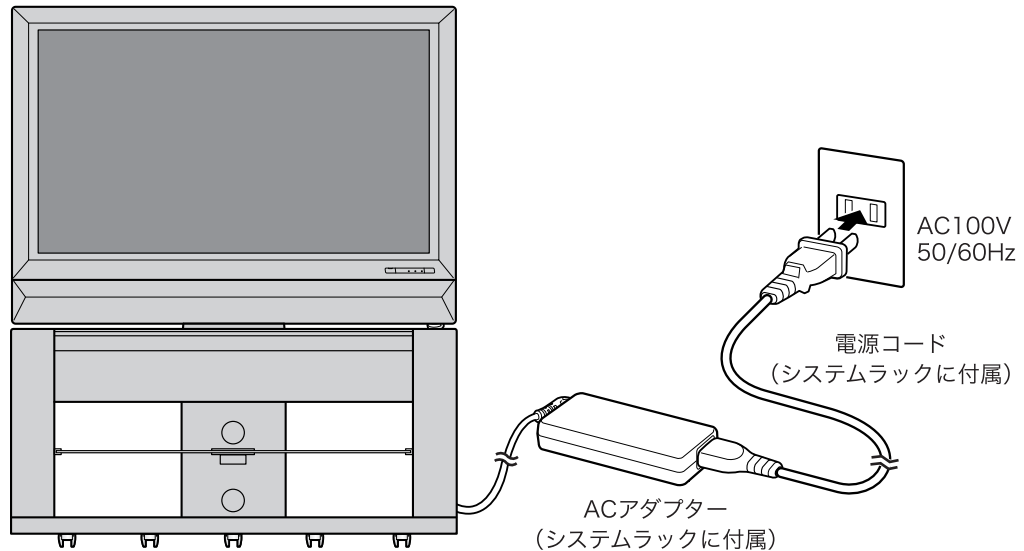
## １２「ウーハーの設定」を「使用する」に設定する

テレビを操作して「ウーハーの設定」を「使用する」に設定してください。
「使用しない」のままですと、ラックのスーパーウーハーからは音が出ません。

1）テレビの電源を入れます。
2）リモコンのメニューボタンを押してメニューを出します。
3）カーソル←→ボタンを押して「調整」を選びます。
4）カーソル↓↑ボタンを押して「ウーハーの設定」を選び、決定ボタンを押します。
5）カーソル←→ボタンを押して「使用する」に設定します。
6）メニューボタンを押してメニューを消します。（設定終わり）

詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

# ウーハーシステムのご使用方法

システムラックの電源コードをコンセントに差し込んでお使いください。テレビ本体の音に量感豊かな低音をプラスします。
本機はテレビ本体からのウーハー出力に重畳されるDC電圧を検知して、自動で内蔵アンプ（低音用）のオン/スタンバイを切り換えます。

## 内蔵アンプシステムの電源オン/スタンバイ機能について

システムラックの内蔵アンプシステムに電源スイッチはありません。システムラックの電源プラグをコンセントに差し込んだ状態でスタンバイ状態となります。
テレビのウーハー出力端子から信号が出力されると、内蔵アンプシステムが重畳されたＤＣ電圧を検知して、自動でアンプ回路の電源を入れスーパーウーハーをオンにします。テレビ側の電源を切った場合などウーハー出力がなくなると、数十秒後に内蔵アンプシステムの電源を自動的に切り、スタンバイ状態となります。
テレビLCD-37HD6、PDP-42HD6と組み合わせてスーパーウーハーをお使いになるときは 、テレビのメニュー項目「ウーハーの設定」を必ず「使用する」に設定してご使用ください。「使用しない」に設定しますと、スーパーウーハーが働きません。
また、「ウーハーの設定」が「使用する」の場合でも、音声調整メニューの「ウーハーレベル」が「オフ」のときはスーパーウーハーが働きませんのでご注意ください。

**ご注意**

- ウーハー出力信号を検知してアンプシステムをオンし、スーパーウーハーから音を出すまでには数秒かかります。
- 内蔵のアンプシステムはスタンバイ状態で約0.5W（ACアダプターを含む）の電力を消費しています。
  長期間お使いにならないときは安全と節電のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スーパーウーハーの開口部（天板の下側）やダクト（背面）をふさがないでください。低音が出にくくなります。また、付近に紙などの軽いものを置きますと、音圧でびびり音が発生することがあります。

# 故障かなと思ったら

| 症　状 | 原因と処理 |
| --- | --- |
| 低音が出ない | ● 本機の電源は正しく接続されていますか？確認してください。<br>● ウーハー用コードは正しく接続されていますか？確認してください。<br>● テレビのメニュー項目「ウーハーの設定」が「使用する」に設定されていますか？確認してください。<br>● テレビの音声調整メニューの「ウーハーレベル」が「オフ」になっていませんか？確認してください。 |

# 仕　様

外形寸法：幅 92.8 ×　高さ 48.3 ×　奥行き 48.3 cm、　質量：29.1 kg

( 搭載スピーカー )
スーパーウーハー：13 cm円型、定格インピーダンス　4Ω

( 内蔵アンプシステム )
アンプ出力：25W（JEITA）
入力端子　：ウーハー入力、ＤＣ入力（DC16V、付属ACアダプター専用）
使用電源　：AC100V 50/60Hz（付属ACアダプター使用、出力DC16V）
消費電力　：約10W、スタンバイ時約0.5W（付属ACアダプター含む）

※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※説明書の図はわかりやすくするために誇張や省略をしています。実物とは多少異なります。

# 保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています
保証書は、お買い上げ販売店でお渡しします。お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みになり大切に保管してください。

■保証期間
保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■保証期間中の修理
保証書の記載内容にしたがってお買い上げ販売店が修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。

■保証期間が過ぎたあとの修理
お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により有料修理いたします。

■修理を依頼される前に
上記の「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと
●お客さまのお名前
●ご住所、お電話番号
●商品の品番
●故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について
この商品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご転居やご贈答の際、そのほかアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げ販売店または最寄りのお客さまご相談窓口にお問い合わせください。お客さまご相談窓口については、別紙の「お客さまご相談窓口」をご覧ください。

**三洋電機株式会社**　www.sanyo.co.jp
ホームエレクトロニクスグループ　AVカンパニー
テレビ統括ビジネスユニット　国内テレビビジネスユニット
〒574-8534　大阪府大東市三洋町1-1
( IFAM )